



令和6年度公民館ビジョン取組評価

評価対象館	行動目標	グループメンバー
植水公民館	地域づくり・つながりづくり	加藤委員長 太田委員 大塚委員 小森谷委員 富田委員 山口委員

取組へのイイね！

- ・地域の素材(地元の歴史的資産等)を活用し、長年、地域で活動する講師を大切にしている
- ・公民館らしくない、楽しく参加できる事業(ウォーキングやしゃべり場など)でつながりを拡げている
- ・公民館が自治会の相談にのり職員自らプロデュースして事業化(落語会)。Win-Winの関係ができている
- ・歴史散策、発酵食品、落語どれも地域住民の「健康」「つながり」「交流」などの要素が入っている

皆で活かせるポイント！

- ・企画力と行動力、PR力の3つが求められているが、まずは情報を求める人に届ける
- ・団体等とコラボレーションすることで、様々な年代に対応できる多様な企画ができる
- ・公民館の強みや地域の魅力を生かしながら、地域のヒトやモノ、コトとのコラボレーションを行う
- ・公民館職員の趣味や好きなことを取組に取り入れることで職員のやりがいにつながる
- ・子ども向け講座は、土曜日の午前中が子どもたちの習い事も少なく、比較的参加しやすい
- ・近隣の中学校や高校、大学のボランティアセンターに声をかけ、ボランティアスタッフを集める

1upへの道

- ・歴史散策では多くの世代が参加しやすいよう、スタンプラリーやお土産等の工夫をして実施してみてはどうか
- ・講座に参加した大人だけでなく子どものニーズをアンケートなどで聞き取り、次年度やほかの事業に反映させていくのはどうか
- ・リピーターの多い講座ではシリーズ化や参加者がステップアップしていく工夫をしてはどうか
- ・ターゲットとする年代を絞りそれぞれのニーズに合った企画を考えていくのはどうか

※拠点公民館長コメント※

特に植水地区は、昔から地域のつながりが濃い地域であり、公民館も地域との連携が求められており、地域との連携を意識して事業を行っていることを評価していただきありがたく考えています。今後ともこの取組の方向性を継続していくとともに、どのように向上させていくかを意識しながら事業を行ってまいります。